

いわた IWATA 市議会だより

平成 25 年

2013

5月1日発行

No.40

発行／磐田市議会 磐田市国府台3-1 <http://www.city.iwata.shizuoka.jp/>
編集／議会報編集委員会 電話(0538)37-4822 ファックス(0538)37-4845(議会事務局)



園児・児童が茶摘みを体験

4月11日、「いわた新茶まつり」が行われました。この催しは、磐田青年茶業研究会が主催したもので、当日は校外学習の一環として、市内の園児・児童532人を対象に茶摘み体験が実施されました。手摘みされた茶は、その日のうちに製茶され、体験した園児・児童や学校等に配られたほか、新茶の試飲サービスも行われました。

2月定例会

市議会は、平成25年2月定例会を2月14日から3月22日までの37日間の会期で開催しました。今議会では、市長提出の平成25年度各会計予算など49議案、議員発議による議会基本条例の一部改正など3議案のほか、請願2件について慎重に審議しました。その結果、請願はいずれも不採択、その他はいずれも原案のとおり可決・同意しました。

なお、一般質問は、2月25日から27日までの3日間にわたり14名の議員が行い、市政のあらゆる分野から市長・教育長の考えをただしました。

主な内容 (ページ)

- 25年度各会計予算 (説明・討論) …… 2～3
- 竜洋長寿の家条例の廃止、請願 (説明・討論) …… 4
- 請願等処理状況 …… 5
- 一般質問 …… 6～11
- 審議結果、5月臨時会の予定 …… 12

可決

平成25年度 一般会計予算 584億円を

総合力ナンバーワンを 目指したまちづくり

予算総額は、584億円で、前年度に比べ14億6800万円、2.6%の増額です。これは、景気回復への期待感が高まっている状況などの経済情勢を踏まえ、歳入面では、市税の増額が見込めること、また、歳出面では扶助費の自然増や防災・減災対策の継続実施、公共施設の見直しの推進、退職手当や選挙経費の増加に加え、優先施策に可能な

限り予算を重点配分したこと が主な要因となっています。

また、歳入のうち市税は、前年度に比べ4.0%、9億9015万2千円の増額となる259億8143万3千円を、地方交付税は、交付実績等を勘案し3.3%増の62億円をそれぞれ見込みました。
賛成23(創・新・志・誠・公・争)、反対3(共)により可決。

一般会計予算に対する討論

浜岡原発に対する態度など 多くの問題がある予算

反対(共) 震災から2年がたった。原発災害等への市民の不安は続いている。浜岡原発に対する市長の態度は、確実な安全・安心の担保が図られない限り再稼働はあり得ないと考えるところで、具体的な行動が見られない。財政調整基金が多くなっているのは、市が財政危機であるかのように訴え、市民要望を抑えてきた結果である。

職員の削減が先行し、埋め合わせとして非正規任用を拡大している点は問題である。

(仮称) 福田幼稚園は当面定員300人の施設となるが、子供たちを災害時に安全に避難させられるか疑問である。
豊岡東小学校と豊岡北小学校の統合を進めることは、保護者や住民の合意がなされていない。問題だと考える。
公共用地売却分を基金に積み立てているが、将来の土地利用ビジョンがない中で、まとまった土地を売却すること

は問題だと考える。

以上により反対する。

施策の推進を大いに期待 遊休資産売却等に課題も

賛成(志) 25年度予算は、安全・安心のための防災・減災対策など、評価すべき施策がある。これらの推進に、大いなる期待をする予算編成となっている。

課題として、遊休資産の売却は、本市の将来を見据えた議論がさらに必要であり、一定規模以上の遊休公有地は、第三者機関などを設置すべきと考える。また、国の国土強靱化計画に対する取り組みについて、防災・減災対策が今日の最大の課題と認識している。現状の制度を十分に活用し、必要な投資を積極的にを行い、市民の安心・安全を担保するものを望む。

新東名スマートインターチェンジの設置と推進は、新東名を生かしたまちづくり等への積極的な取り組みを願う。
豊岡東小・豊岡北小学校の統合推進事業は、地域の目線を大切にした合意形成を願う。
一方、本市が目指す小中一貫教育に大いに期待をする。

以上により賛成する。

希望が持てる状況の評価 安定した行財政基盤の確立を

賛成(創) 本予算には、地域防災計画の見直しや安定ヨウ素剤の配備、小中一貫教育の本格的導入や認証保育所施設への補助制度の創設、新東名へのスマートインターチェンジ設置推進事業、(仮称)福田幼稚園の整備などが計上された。さまざまな事業の推進により、今後のまちづくりや市民生活などの面で希望が持てる状況になってきたことを評価したい。

また、財政調整基金繰入金金の減少や起債残高の減少傾向など、財政健全化への取り組みの成果が出てきたと考える。財政調整基金の残高は、2年間で20億円以上減少する点や、臨時財政対策債の残高が増加傾向にある点などは、性急には断じられないが、不安要素の一つと考えられる。
今後は、普通交付税の合併算定替えが漸減することを見据え、厳しい財政下でも安定した運営のできる行財政基盤の確立が急務と考えられる。
以上により賛成する。

平成25年度 各会計予算

一般会計

(1万円未満は四捨五入してあります)

会計名	平成25年度予算額	平成24年度予算額	増減
一般会計	584億円	569億3,200万円	14億6,800万円

特別会計

会計名	平成25年度予算額	平成24年度予算額	増減
国民健康保険事業特別会計	168億4,429万円	161億4,800万円	6億9,629万円
後期高齢者医療事業特別会計	14億2,525万円	14億2,442万円	83万円
介護保険事業特別会計	99億1,999万円	97億6,306万円	1億5,693万円
公共下水道事業特別会計	61億8,921万円	60億4,798万円	1億4,123万円
その他の特別会計 ※	2億5,141万円	2億4,724万円	417万円

※その他の特別会計には、公平委員会、駐車場事業、農業集落排水事業、4財産区の各特別会計の合計額を記載しています。

企業会計

会計名		平成25年度予算額	平成24年度予算額	増減	
水道事業会計	収益的	収入	27億5,010万円	27億7,737万円	△2,727万円
		支出	27億1,911万円	29億2,792万円	△2億881万円
	資本的	収入	6億3,775万円	8億3,034万円	△1億9,259万円
		支出	15億3,798万円	17億6,958万円	△2億3,160万円
病院事業会計	収益的	収入	154億1,923万円	144億6,488万円	9億5,435万円
		支出	159億7,383万円	152億4,699万円	7億2,684万円
	資本的	収入	14億4,835万円	13億4,272万円	1億563万円
		支出	23億5,724万円	19億7,163万円	3億8,561万円

収益的収支…収益的収入は、水道事業の水道料収入、病院事業の入院・外来の診療収入などをいいます。

収益的支出は、職員給与や材料費、光熱水費などをいいます。

資本的収支…主に施設を整備・拡充するために必要な経費と財源をいいます。

国民健康保険事業特別会計予算

予算総額は168億442万1千円で、前年度に比べ約4・3%、6億9629万1千円の増額となりました。

内容は、保険給付費、後期高齢者支援金、保健事業費など、必要な経費を計上したもので、主な財源は、保険税、国・県などからの負担金・交付金や一般会計繰入金です。引き続き、国民健康保険財政の健全化と円滑かつ適正な事業運営に努めます。

賛成23(創・新・志・誠・公・争)、反対3(共)により可決。

討論

**一般会計繰入金半減は問題
徴収しすぎた税は還元を**

反対(共) 一般会計からの独自繰り入れが半額以下になるなど、国保税軽減の観点が見受けられない。また、滞納世帯のうち本来の国民健康保険証でない世帯があることは問題であり、納められる国保税にすぎた国保税を加入者

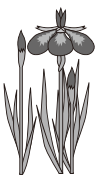
へ還元すべきとの提案が予算に反映されていない。

制度的問題として、国の負担が半減しており、国保加入者などの負担がふえている。国に対し、国庫負担をふやすよう強く求めるべきである。以上により反対する。

**一般会計繰入金削減を評価
さらなる財政健全性向上を**

賛成(誠) 景気低迷に伴う国保税収入の停滞等さまざまな問題を抱える中、税率を改定せず38億8580万9千円の税収を見込んでいます。また、収納努力と被保険者に対する軽減措置の浸透により、今後の収納率向上に対する期待感が確認できる。さらに、10億円程度の基金残高の維持と、一般会計の負担を鑑み、その他一般会計繰入金を24年度比3億7503万8千円削減したことを評価する。

今後、さらなる財政健全性の向上に向けた努力を期待し賛成する。



竜洋長寿の家の廃止条例を可決

これは、高齢者の健康の増進等を目的に設置された竜洋長寿の家を、25年3月末に閉鎖するため、条例を廃止するものです。廃止後は、他施設等で事業継続を図ります。

賛成23(創・新・志・誠・公・争)、反対3(共)により可決。

討論

廃止ありきの進め方は問題

反対(共) 反対の理由を述べる。①行政が各施設の設定年月日も把握していないものを、行政の都合で廃止するのは納得できない。②地域の人にとってかけがえのない施設であり「ぜひ残して」との声がある。③行政は地域の合意は得られたと言いが、存続を求める声は多数あり、廃止ありきの進め方は問題である。また、地区や利用者が限定的との理由では、住民の納得は得られない。よって反対する。

説明会で得られた地元理解

賛成(新) 竜洋長寿の家は、

り、それぞれの皆さんに御理解、確認をいただいている。また、施設廃止後についても、竜洋地区内の他施設及び関係団体等で事業継続を図り、引き続き高齢者の健康増進に努めていくとしていることから、本案に賛成する。

肺炎球菌ワクチン接種に 公費助成を求める請願

【請願者】

いわた住みよい高齢社会をつくる会

代表 池端誠吾さん

外5団体、外5654名

本請願は、「高齢者への肺炎球菌ワクチン接種に公費助成を」というものです。

民生教育委員会で審査した結果、「25年度に予算化された」等の意見により「不採択とすべきもの」と決定。3月22日の本会議でも本請願に賛成4(共・争)、反対22(創・新・志・誠・公)により、「不採択」と決定しました。

討論

公費助成は道理ある内容

賛成(共) 公費助成は、予防促進と医療費の節減を目指す

す施策として道理ある内容である。本請願は当然、市議会議員としての立場で判断すべきである。趣旨には賛同するが、既に予算化されているから反対との意見もあるが、私たちは行政ではない。趣旨に賛同するならば、素直に賛成し、議会は市民を応援しているという姿勢を示すべきである。そのことが署名に託された皆さんへの回答だと思つ。以上により賛成する。

予算計上され請願目的は達成

反対(公) 今議会で、肺炎球菌予防接種委託料を含む25年度予算が可決成立し、同ワクチン接種への公費助成が確定した。請願審査では、請願者から、対象年齢や助成額は限定しないとの回答があった。

署名された方も、市議会での採択が最終目標ではなく、実際に公費助成が実施されることを求めるものと考える。

「生活保護基準の引き下げ中止を 求める意見書」の提出を求める請願

【請願者】

警田生活と健康を守る会

会長 乗松金作さん

全日本年金者組合警田支部

支部長 池端誠吾さん

新日本婦人の会警田支部

支部長 千葉みつ子さん

本請願は、「生活保護基準を引き下げないよう、国に意見書提出を」というものです。

民生教育委員会で審査し「不採択とすべきもの」と決定。3月22日の本会議でも採択に賛成3(共)、反対23(創・新・志・誠・公・争)により、「不採択」と決定しました。

討論

受給者の実態を踏まえ判断を

賛成(共) 生活保護制度は、暮らしに困ったときの命綱である。請願の委員会での反対討論で、現段階では国の指針を注視すべきとのことだが、生活困窮者の立場に立った認

本請願は、該当予算が計上された予算可決をもって目的を達しており、採択の必要性に乏しいと判断し、反対する。

国の指針を注視すべき時期

反対(創) 生活扶助費の基準額引き下げは、国や自治体の財政を圧迫する社会保障の見直しの一環である。生活保護の基準額は、他の生活支援制度の目安にもなっており、引き下げは受給者だけでなく、こうした制度の利用者にも影響が及ぶ可能性がある。代表的な例が住民税の非課税限度額であるが、国などは、26年度以降の税制改正で対応を検討したいとしている。現段階では国の指針を注視すべき時期であり、本請願に反対する。

請願及び陳情の処理状況

21年4月から25年2月までに市議会に提出された請願と陳情について、議決結果と処理状況等をお知らせします。

○請願

年	件名	議決結果	処理状況等
24	行政書士法違反書類の磐田市各機関への提出排除に関する請願	採 択	全庁的に窓口業務の適正化について通知をし、本人確認等の徹底をした。また、県行政書士会から看板の提供があれば速やかに設置予定である。
24	浜岡原子力発電所の「永久停止・廃炉」を求める請願	不採択	
25	肺炎球菌ワクチン接種に公費助成を求める請願	不採択	
25	「生活保護基準の引き下げ中止を求める意見書」の提出を求める請願	不採択	

○陳情

年	件名	議決結果	処理状況等
23	公契約条例制定を求める陳情書	不採択	
23	国保一部負担金減免制度に関する陳情	不採択	
23	漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置に関する国への意見書の提出を求める要望	—	23年10月7日、「漁業用軽油に係る軽油引取税免税措置の恒久化を求める意見書」を可決し、国に送付した。
23	浜岡原子力発電所の永久停止決議に関する陳情	不採択	
23	浜岡原子力発電所の「永久停止・廃炉」を求める陳情書	不採択	

以下の 15 件については、議会運営委員会で意見書を提出するかどうかを審査し、その結果いずれも意見書の提出には至りませんでした。

- ① 所得税法第56条廃止を求める意見書採択を求める陳情書
- ② 「肝炎対策の為の基本法制定を求める意見書」の採択を求める陳情
- ③ 永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出を求める陳情書
- ④ 「最低賃金法の見直しと最低賃金の大幅引き上げを求める意見書」の提出を求める陳情書
- ⑤ 「所得税法第56条廃止を求める意見書」の提出に関する陳情書
- ⑥ 「核廃絶日本宣言」を求める政府への意見書採択のお願い
- ⑦ 「核兵器廃絶日本宣言」を求める政府への意見書採択のお願い
- ⑧ 「所得税法第56条廃止を求める意見書」の提出に関する陳情書
- ⑨ 住民の安心・安全を支える行政サービスの充実を求める陳情書
- ⑩ 「国による乳幼児医療費無料制度の創設を求める意見書」採択のお願い
- ⑪ 非核日本宣言を求める意見書採択に関する要望書
- ⑫ 年金制度の改善を求める意見書提出を求める陳情
- ⑬ 消費税増税に反対する意見書採択を求める陳情
- ⑭ 「核兵器廃絶日本宣言」を求める日本政府への意見書採択の陳情
- ⑮ 「保険で良い歯科医療の実現を求める」意見書採択に関する陳情

一 市政を問う 一般質問(要旨)

行財政改革大綱実施計画の取り組み 高齢社会を拓く磐田版の創設／JR磐田新駅

創志会 村田光司 議員(二問一答)

行財政改革

質問 作成予定の公共施設白書の市民への説明は。

答弁 広報いわた等を活用して、実態や課題を見える化し、市民の皆様にはわかりやすく情報提供したい。

質問 (仮称)いわたファンクラブの立ち上げとは何か。

答弁 「磐田市が好き」等の声は市内外から多く聞く。そういう方に会員となつていただき、市の情報を届け一緒に本市をPRする仕組みである。

高齢社会

質問 高齢者福祉にかかわる団体へのさらなる支援は何か。

答弁 地域活動への参加促進や老人クラブ活動、公会堂等を利用した介護予防活動、高齢者サロンへの支援を継続するとともに、生涯学習の推進等を図っていききたい。

質問 週に1・2回程度、短

る。

新駅

質問 JRとの協議の進捗は。

答弁 現在、自由通路の修正設計などを進めている。また、安全対策や旅客需要の推計などの協議も行っており、おおむね順調に進んでいる。

質問 福田から豊岡地区への南北アクセス道路整備は。

答弁 新駅整備の進捗にあわせて大立野福田幹線を整備する予定である。また、新駅から豊岡地区に至る道路整備は、向笠竹之内新出幹線などの既存道路の部分補修等を行い、現道を活用する予定である。



市制10周年に向けて 期待したい文化行政の方向

新磐田 玉田文江 議員(一括質問)

市制10周年

質問 市制10周年に向けて、準備のための構想と今後の動きについて伺う。

答弁 自治基本条例の検討や市歌の制定、新たな友好都市協定などのほか、既存の行事等も含め、25年度から2年間かけて総合的に検討・準備し

た、見付宿が舞台の謡曲「舞車」を上演してはどうか。

答弁 貴重な地域資源であるが、「千手の前」や「熊野御前」など歴史・文化に係る多くの地域資源があり、また、スポーツイベント等もあるため、総合的に検討したい。

市全体で取り組むことを基本に、磐田の特徴にあふれ、多くの市民が参加できる記念行事となるよう検討する。

文化行政

質問 自主事業実施の方向性について伺う。

答弁 文化振興会の意見を反

津波被害軽減対策

志士の会磐田 八木邦雄 議員(二問一答)

質問 津波避難タワーの階段は1カ所で大丈夫なのか伺う。

答弁 住民の避難タワーまでの移動距離が個々に異なるため、一度に階段に集中する人数は限られると想定し、1カ所とした。

質問 津波避難タワーに備蓄倉庫はあるのか。

答弁 緊急避難施設であるた



映させた中で、事業本数の見直しや市内各ホール、各年代にバランスのとれた事業展開となるよう見直しを図っている。25年度は、世界的に活動する指揮者と地元吹奏楽団等との協働の音楽イベントや市内楽器製造企業との協力を得て楽器の製造工程までも学ぶ事業など、これまでになかったような企画を調整中である。

質問 定期的な文化フォーラムの開催を。

答弁 市内各事業との連携、市民との協働、県との共催など幅広い手法で検討したい。

め、備蓄倉庫は備えていない。説明会でも、飲食物は自助と考へ、個々で用意していただくようお願いしている。

質問 津波避難タワーの蓄電池内蔵ソーラー照明灯は、何時間対応できるのか。

答弁 照度・人感センサー内蔵のソーラー照明で、最低限住民の避難が完了するまでの

時間と考え、約2時間半の使用時間となっている。

質問 津波避難タワーでの想定避難時間は。

答弁 緊急避難施設として建設した経緯もあり、避難時間等は考慮していない。

質問 液化化ゾーンニングマップ作成の考えは。

答弁 県では第4次地震被害想定、250mメッシュのゾーンニングマップを作成し、25年6月に公表予定であるので、県の動向を踏まえ、防災ホ-



津波避難タワー (浜部)

ムページや地震対策マニュアル改訂版等で市民への情報提供に努める。

質問 命山建設の考えは。

答弁 第4次地震被害想定により、津波避難施設の追加的建設が必要となった場合は、手法の一つとして検討したい。駒場では地域要望もあり、命山をつくる予定だったが、近隣から「目の前に高い土の山をつくってもらっては困る。」との意見などを踏まえた地域住民の思いにより、避難タワーになった。

憲法9条と平和／教育と子育て施策時代の变化に対応した市政

日本共産党磐田市議員 高梨俊弘 議員(一問一答)

憲法9条

質問 憲法9条は守るべきと考えるが、市長の見解は。

答弁 国として恒久平和を念願するものと理解している。一首長が是非を述べるべきではなく、世論の推移を見守る。

教育・子育て

質問 磐田版35人学級の成果と、30人学級実施の見解を。

答弁 個に応じた支援・指導

の成果が出ており、現行の35人学級で教育の目標を十分達成できると考える。今後も児童生徒に行き届いた教育を目指していきたい。

質問 体罰についての見解と本市の実態、取り組みを伺う。

答弁 体罰は決して許されるものではないと考える。実態は、24年度、各小中学校から13件の報告があった。アンケート

ート等を実施して実態把握に努め、体罰の禁止を再度徹底し、児童生徒一人一人を大切にしたい教育の推進に努力していく。

質問 児童を健全に育成する施設として、児童館の建設を。

答弁 市内には児童館が2館、子育て支援センターが9カ所設置されており、新たに建設する考えは現時点ではない。

防災・安全対策

中小企業・小規模事業者施策／子育て・教育

公明党磐田 鈴木喜文 議員(一問一答)

防災・安全

質問 家庭防災の日、市も加わって全市民の日として位置づけられたと考えてよいか。

答弁 そのようにとらえていただいてもよい。行政もできることは精いっぱい行う。

質問 通学路緊急点検の結果と対策箇所等を記した図面の公表は。また、国の防災・安全交付金を求めない理由は。

答弁 児童生徒の防犯上の安全を考慮し、公表はしていないが、各学校へは点検結果と図面を配布した。通学路整備は、市単独事業としている

豊岡児童館は老朽化が激しく、今後、(仮称)豊岡総合会館内へ機能を移転する。

質問 野外活動センターの施設整備に対する見解を。

答弁 本市には、桶ヶ谷沼ビクターセンター、竜洋昆虫自然観察公園等があり、既存施設の有効活用や、利用者ニ-



福田児童館

ズの把握に努めていく。

質問 市営墓地返還時の使用料還付は、時代の変化に対応した改善が必要ではないか。

答弁 墓地に対する考え方の方の多様化や、承継者の問題など社会情勢の変化もあり、制度のあり方は検証が必要である。

中小企業等

が、今後県との協議で、交付金対象となるよう要望したい。

質問 事業継承を支援するため、中小企業・小規模事業者への後方支援部署の設置を。

答弁 専門的な人員の配置等は現時点で考えていないが、今後も商工会議所等と連携し、できる限りの支援をしたい。

子育て・教育

質問 子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌のワクチン定期接種への対応を伺う。

答弁 予防接種法の改正



竜洋幼稚園

豊岡地区は幼保の再編計画を策定する中で地域の実情に応じ、認定こども園を視野に検討する。

新年度予算の諸課題

日本共産党磐田市議団 根津康広 議員（一問一答）

〔質問〕 25年度予算案では、高齢者肺炎球菌予防接種経費が計上されている。検討経過と目的、効果を伺う。

〔答弁〕 高齢者への接種費用助成に対する提案を受け、検討を重ねた結果、一部助成することにした。肺炎球菌のワクチン接種者をふやし、高齢者の肺炎による重症化を防いでいきたい。

〔質問〕 肺炎球菌予防接種は、年齢的に早いほうが効果もあり、医療費の節減と予防対策になる。助成の年齢を75歳にした理由は。

〔答弁〕 医療費と予防の費用対効果等を検討し、非常に効果があるという見解のもとに、75歳以上とした。

〔質問〕 新東名へのスマートインターチェンジ設置について今後の計画を伺う。

〔答弁〕 連結許可申請について国に確認したところ、25年3月に申請を受理・審査した後25年度に連結許可交付を予定していると聞いている。今後

は、連結許可の取得後、25年度に道路測量、設計等を実施し、28年度中の供用開始を目指すこととしている。

〔質問〕 広島平和記念式典への小学生参加の目的は。

〔答弁〕 小学生のときから平和への思いを高めるとともに、子供たちのつながりが深くなることを期待している。

〔質問〕 平和事業推進のための（仮称）市民懇談会の設置を。

〔答弁〕 被爆写真パネル展でのアンケ



広島平和記念式典派遣事業

ートや関係団体との懇談の機会を通じ、平和事業に市民の意見を生かしていきたいと考えており、現時点では市民懇談会の設置は考えていない。意見交換をする場合は、市政懇談会等もあるので、被爆写真パネル展などの推移を見させていただきたい。

市の財政状況／津波避難ビルの課題 水防計画の現状と課題／公営婚活のすすめ

争論 中村 薫 議員（二問一答）

財政

〔質問〕 正確なコスト分析で事業評価ができる公会計への整備の現状は。

〔答弁〕 新地方公会計制度における財務諸表を、総務省方式改訂モデルで作成している。23年度決算より、財務諸表、バランスシートや行政コスト計算書を決算報告とあわせ、広報いわたに掲載した。今後でもできるだけ市民にわかりやすい広報を心がけていきたい。

津波避難ビル

〔質問〕 津波避難ビルの設定基準を見直す考えは。

〔答弁〕 今後、公表される第4次地震被害想定により、見直しの必要性が生じれば検討していきたい。

水防計画

〔質問〕 水防倉庫の現状は。

〔答弁〕 市内には天竜川、太田川、今ノ浦川等の川沿いに、24カ所の水防倉庫が設置されている。くい、土のう袋、シヨベル、



水防倉庫（小立野）

市長の総括

〔質問〕 市長1期4年間の達成度と今後の方向性は。

〔答弁〕 公約で掲げた取り組みはすべて着手でき、おおむね達成できたと考えている。一方、課題も多く残り、日本一バランスのとれた「総合力ナンバーワン」のまち磐田の構築は道半ばとも思っている。

市長1期4年の総括と展望 消防／女性が安心して働く環境整備

新磐田 川崎和子 議員（一括質問）

〔質問〕 救命胴衣等の資機材が備蓄され、消防団が日常点検を行い、有事に備えている。

〔質問〕 公営で婚活パーティー等を開催する考えはあるか。

〔答弁〕 25年度に、まじめに将来を考える未婚者を対象に、地域資源を活用した出会いの場を創出する事業を試行する予定である。

公営婚活

〔質問〕 市内の20歳代から40歳代までの未婚の状況を伺う。

〔答弁〕 22年の国勢調査結果では、未婚者の割合は39・8%であり、17年の調査結果とほぼ横ばいである。

引き続き住んでよかったと思われるまち、笑顔あふれ情の通ったまちを目指して、誠心誠意取り組んでいきたい。

〔質問〕 職員の定員適正化計画と人件費は。

〔答弁〕 計画どおりに進んでおり、退職金を除く人件費は、年々減少すると見込んでいる。今後も職員だけでなく、臨時

職員の賃金等を含めた総額を把握し、管理に努める。

消防

【質問】 仮眠室の個室化は。

【答弁】 福田と竜洋分遣所は個室化した。他は未整備である。カーテンで仕切るなど、できることはやっていく。

【質問】 防火井戸の活用方針は。

【答弁】 消火栓、防火水槽とともに有効な水利であり、今後も活用していく。活用の啓発、周知は、必要だと思っている。



防火井戸

女性が働く環境整備

【質問】 市内に女性就労専門の

つづ幼稚園、保育園の再編計画を策定する中で、できるだけ早く検討していきたい。

窓口設置は。

【答弁】 ハローワーク磐田に確認したところ、管内では袋井市に窓口を設置していること、本所や磐田駅前庁舎では、施設及び人員の問題から窓口設置は困難と聞いている。

【質問】 幼稚園の預かり保育の拡大は。

【答弁】 拡大には保育時間や保育料の設定等さまざまな課題がある。今後の動向を注視し

行政関連課題
安心・安全のまちづくり

公明党 警田 小野 泰弘 議員（一括質問）

行政関連課題

【質問】 新たな広域行政の戦略として、定住自立圏構想について今後の展開の見込みは。

【答弁】 まずは合併した5市町村エリア内の充実を図ることが、最優先課題と考えている。

【質問】 中高年齢者、母子家庭の母、障害のある方、生活保護受給者等のための就労支援に対する市の役割は。

【答弁】 県内の市町の動向を見ながら検討していきたい。

安心・安全

【質問】 家庭配備のみならず、外出時携帯用の緊急医療情報カードに対する考えは。

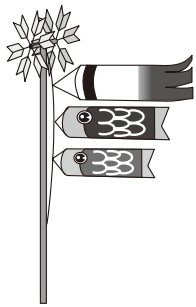
【答弁】 効果的とは思いますが、まずは救急医療情報キットによる地域での見守り活動を実施し検証した上で、地域の意見も伺いながら検討したい。

【質問】 在宅で人工呼吸器を使用している人の実態調査をしたことがあるか。また、ガイドライン等はあるか。

【答弁】 実態調査やガイドラインの策定等は行っていないが、地域から災害時要援護者の情報提供を進めており、要援護者の見守り助け合いカードの作成をお願いする中で、人工呼吸器使用者の把握と、支援方法の役割分担を検討したい。

【質問】 県で軽度及び中等度難聴児の補聴器購入に対する助成制度が実現した際に、本市も助成制度を行う考えは。

【答弁】 県の補助制度の創設にあわせ、本市においても助成を行う予定である。



市政運営
市政の諸課題

志士の会 警田 鈴木 啓文 議員（一括質問）

市政運営

【質問】 新政権が掲げる成長戦略について、市長の考えは。

【答弁】 将来を見据えた成長と改革を基本に、必要な事業には国と歩調を合わせながら積極的に打って出たい。常に身の丈に合った予算を心がけ、日本一バランスのとれた総合力ナンバーワンのまちの実現に向け、努力していく。

【質問】 国の大型補正予算に対する対応方針を伺う。

【答弁】 当面の景気回復が第一と考えるので、緊急経済対策には同調する感を持っている。地域経済が少しでも活性化するように、追加の補正予算により対応していきたい。

【質問】 25年度予算を、市民としてどう受けとめたいか。

【答弁】 防災・減災対策、子供たちへの支援、公共施設の見直し等、将来に一步踏み出していける予算になったと思う。

【質問】 市の成長産業の考えは。

【答弁】 次世代自動車等の研究開発に関する事業支援や、新

エネルギーの促進、スポーツ産業等の内需拡大が期待できる事業の推進に取り組んでいきたい。新たな産業の受け皿となる工業団地の開発と、新東名スマートインターチェンジ設置にも取り組んでいく。

農業振興地域では、県の内陸フロンティア構想等の規制緩和を活用し、開発を行う手法を模索している。農業生産法人等の誘致活動による農業振興も積極的にしていきたい。

市政の諸課題

【質問】 磐田原台地の農地集積事業の検討状況を伺う。

【答弁】 農地集積は、作業効率の点から有効な手段であることから、生産者同士の間で共通認識と強い思いがあれば、県やJA、土地改良区と連携し、積極的に支援していきたい。



磐田原の茶園

財政の現状と課題及び行政改革の進捗 市立総合病院

新磐田 松野正比呂 議員（一括質問）

財政と行政改革

質問 財政の現状認識と課題、今後の財政運営の考え方は。

答弁 厳しい状況からは持ち直しが進み、安定的な財政基盤を築きつつある。最大の課題は、合併支援措置である普通交付税の合併算定がえの縮小・終了で、支援措置がなくなってもしつかりした財政基盤を確保するため、市債の繰上償還など健全化に向けた取り組みを積極的に実施していく。

質問 民間活力導入の実績、効果、今後の課題を伺う。

答弁 市民課での証明発行窓口業務は、きめ細かい案内など市民から高評価で、納税コールセンターは、収納率の向上等に十分寄与している。今後も市民サービスの向上や効率化等が図られる業務は、積極的に導入したい。

市立総合病院

質問 経営改善の主な要因と今後の目標は。

答弁 診療報酬改定による収益的な効果が収入増の要因で

ある。今後も診療報酬改定に的確に対応した診療体制の整備、コスト削減等による経営改善を図っていきたい。

答弁 広報いわたや市ホームページに予算・決算の詳細を掲載しているほか、民間の方が入った病院懇話会を年1回開催し、経営状況を含め説明している。今後は、病院ホームページからも経営状況がわかりやすく確認できるように検討していく。



磐田市立総合病院

質問 看護師確保の方策と定着のための環境整備は。

答弁 学校訪問や病院見学受け入れなどを行い看護師確保に努める必要があり、新人研修や修学資金貸与など、処遇改善や定着を図っている。

財政運営 政策会議

創志会 山田安邦 議員（二問二答）

財政

質問 市債残高のうち、交付税算入対象外であり、最終的に市の一般財源で負担しなければならぬ額はいくらか。

答弁 24年度末見込みで公債費の支出総額は、一般会計で約647億円、うち交付税算入額が約440億円あり市費負担額は約207億円である。全会計では、公債費の支出総額は1283億円、うち交付税算入額が705億円あり市費負担額は578億円である。

質問 実質公債費比率を含めた適切な市債の規模と将来負担比率の見込みは。

答弁 県内の住民1人当たりの普通会計市債残高の平均が、適正な規模の一つの目安になると考える。本市は平均値よりやや高い数値であり、関連して実質公債費比率も平均より高いため、プライマリーバランスの黒字化を基本に残高の抑制に努めていきたい。将来負担比率は、25年度以降、財政計画を参考にした市債現在高や基金残高等の推移から、70%を下回って推移すると見込んでいる。

質問 実質収支比率の変化が

政策会議

質問 政策会議の市政における位置づけは。

答弁 政策会議は、部局の抱える課題等を議題とし、全庁的に情報共有を図るほか、他部局の意見を求めながら、全庁的な方針決定に向けて協議する場としている。

質問 会議録等の公開は。

答弁 政策会議は、あくまで庁内会議の一つであるため、会議録は作成していない。



豊岡東小の統廃合は白紙に戻して 市民サービス向上／就学援助

日本共産党磐田市議団 稲垣あや子 議員（二問二答）

豊岡東小学校

質問 統廃合は保護者や地域住民の合意が得られているか。

答弁 自治会長など地域住民の代表者やPTA代表者などで組織された豊岡東地区協議会理事会から「26年4月1日に統合を目指すことを議決しました」との文書により報告があった。このことから合意

は得られていると判断した。

質問 「豊岡東小統合、白紙に戻し再協議を求める署名」が提出されたが対応は。

答弁 定例教育委員会会議で協議した結果、統合の方針は変えないが、署名内容や人数から、地区の考えがまとまる必要と考え、統合準備の手続などを一時停止する。

市民サービス

【質問】 童謡長寿の家廃止の撤回と今後の利用継続の考えは。

【答弁】 事業の廃止、施設の地元自治会への返還、譲渡は、

【質問】 施設を幼稚園、保育園で明確に分けるのではなく、柔軟に運営できるように配慮する。地域の実情に応じ認定こども園を視野に入れ検討する。

【質問】 (仮称) 福田幼保園建設で、幼稚園と保育園は目的が違いため、分けるべきでは。

【答弁】 施設を幼稚園、保育園

【質問】 25年2月1日現在、小中学校で628人、4・52%である。今後、学校との連携を密にし、制度周知に努める。

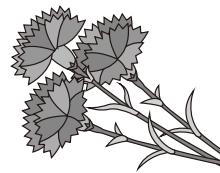
就学援助

【質問】 就学援助申請に民生児童委員の意見を付すことは、法的な義務付けがない。やめるべきと考えるが見解は。

【答弁】 今後、意見書の必要性を研究していきたい。

【質問】 準要保護の人数や受給率、課題は。

【答弁】 25年2月1日現在、小中学校で628人、4・52%である。今後、学校との連携を密にし、制度周知に努める。



スポーツ(高校女子サッカー選手権大会) 消防団/磐田市聖苑

志士の会磐田 八木正弘 議員(二問一答)

女子サッカー

【質問】 継続開催を発表しているが、今までの考え方とどう変わったのか。

【答弁】 開催時期を変更するに当たり、運営スタッフの確保や気候等、さまざまな懸念材料があったが、関係者の御尽力で無事運営すること



高校女子サッカー選手権大会

【質問】 就学援助申請に民生児童委員の意見を付すことは、法的な義務付けがない。やめるべきと考えるが見解は。

【答弁】 今後、意見書の必要性を研究していきたい。

をとれる仮設更衣室の確保等

【質問】 市の経済効果は。

【答弁】 32チーム中13チームが市内に宿泊した。ホテル関係者からは閑散期での開催でありがたかったとの声を聞いている。市内に宿泊するチームをさらにふやすよう、情報提供等、工夫をしたい。

【質問】 市長は団の統合・再編・縮小を考えているようだが、私はこれからさらに強化すべきと考える。見解を。

【答弁】 本市の実態に合った強い団にすることを基本とし、海岸地域・山間地域及び同一方面隊内でも人口の密集度合いが異なる地域など、環境の違いを有することから、地域の実態にあわせた再編となるよう団の内部で検討している。

【質問】 ライフジャケットを支給した分団・着数は。

【答弁】 24年度に、団の全車両64台へ各6着、計384着を支給した。

【質問】 今後の聖苑の防災対策等をどう考えているか。

【答弁】 現在継続して検討しているが、施設移転等の具体的な検討までには至っていない。

【質問】 今後の聖苑の防災対策等をどう考えているか。

【答弁】 現在継続して検討しているが、施設移転等の具体的な検討までには至っていない。

議会インターネット中継をご利用ください

ご自宅のパソコンで簡単に視聴できますので、ぜひご利用ください。

利用方法

①市議会のページ (http://www.city.iwata.shizuoka.jp/shigikai/)

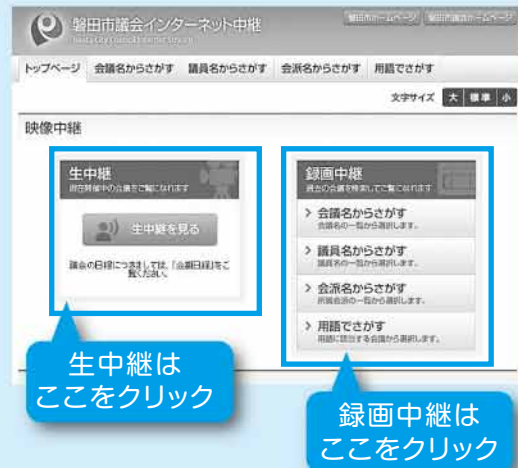


又は検索サイトにて

磐田市議会 中継

検索 クリック

②メニュー画面



注) 本会議が開かれていないときは、生中継をご覧になれません。録画中継はいつでもご利用いただけます。

審 議 結 果

■全会一致により可決・同意された議案

- (1) 24年度一般会計補正予算（第6号）
- (2) 特別職報酬等審議会条例及び市議政務調査費の交付に関する条例の一部改正
- (3) 24年度一般会計補正予算（第7号）
- (4) " 公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- (5) 25年度磐田市外1組合公平委員会特別会計予算
- (6) " 駐車場事業特別会計予算
- (7) " 後期高齢者医療事業特別会計予算
- (8) " 介護保険事業特別会計予算
- (9) " 広瀬財産区特別会計予算
- (10) " 岩室財産区特別会計予算
- (11) " 虫生財産区特別会計予算
- (12) " 万瀬財産区特別会計予算
- (13) " 農業集落排水事業特別会計予算
- (14) " 公共下水道事業特別会計予算
- (15) " 水道事業会計予算
- (16) " 病院事業会計予算
- (17) 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
- (18) 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定
- (19) 新型インフルエンザ等対策本部条例の制定
- (20) 市が管理する市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定
- (21) 準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定
- (22) 市営住宅等整備基準に関する条例の制定
- (23) 磐田都市計画鎌田第一地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定
- (24) 公共下水道の構造等の技術上の基準を定める条例の制定
- (25) 市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部改正
- (26) 職員の給与に関する条例の一部改正
- (27) 職員退職手当支給条例等の一部改正
- (28) 職員の退職年金等の給付に関する条例等の一部改正
- (29) 体育施設に関する条例の一部改正
- (30) 豊田福祉センター条例の一部改正
- (31) 豊岡地域福祉センター条例の一部改正
- (32) 子育て支援総合センター条例の一部改正
- (33) 市立保育園条例の一部改正
- (34) 竜洋老人福祉センター条例の一部改正
- (35) 広瀬財産区財政調整基金条例等の一部改正

- (36) 都市公園条例の一部改正
- (37) 少人数学級編制の実施に係る市費負担教員の任用等に関する条例の一部改正
- (38) 太田川原野谷川治水水防組合規約の変更
- (39) 中東遠地域5消防本部消防通信指令事務協議会規約の変更
- (40) 財産の譲渡
- (41) 財産の譲渡
- (42) 市道の路線認定
- (43) 市道の路線変更
- (44) 24年度一般会計補正予算（第8号）
- (45) " 公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）
- (46) 市議会基本条例の一部改正
- (47) 市議会会議規則の一部改正
- (48) 市議会委員会条例の一部改正
- (49) 人権擁護委員の候補者推薦の意見

■賛成多数により可決された議案

- (1) 25年度一般会計予算
- (2) " 国民健康保険事業特別会計予算
- (3) 竜洋長寿の家条例を廃止する条例の制定
- ※ これらの議案は討論が行われました。表決結果はいずれも次のとおりです。
賛成 23（創・新・志・誠・公・争）、反対 3（共）

■賛成少数により不採択となった請願

- (1) 肺炎球菌ワクチン接種に公費助成を求める請願
- ※ この請願は討論が行われました。表決結果は次のとおりです。
賛成 4（共・争）、反対 22（創・新・志・誠・公）
- (2) 「生活保護基準の引き下げ中止を求める意見書」の提出を求める請願
- ※ この請願は討論が行われました。表決結果は次のとおりです。
賛成 3（共）、反対 23（創・新・志・誠・公・争）

■そのほか本会議で議題となった案件

- (1) 市議会議員の派遣

会派名の表記（人数） ※25年3月22日現在
「創」創志会（7）、「新」新磐田（6）、「志」志士の会磐田（5）、
「誠」誠和会（3）、「共」日本共産党磐田市議団（3）、
「公」公明党磐田（2）、「争」争論（1）
（注）議長は採決に加われません。

編集後記

今期議会最後の議会だよりとなりました。この1年、議会基本条例の制定や議員定数の減員、議会報告会の開催など、多くの取り組みをお伝えすることができました。次期議会も、市民の皆様が親しまれる議会だよりの発行に努めてまいります。



5月臨時会の予定

— 5月13日～20日（8日間） —

日程は変更する場合がありますので、事前に議会事務局（電話 0538-37-4822、ファックス 0538-37-4845）までお問い合わせください。

5月13日 本会議（議案の上程、説明、質疑）

常任委員会

14日 常任委員会（審査予備日）

20日 本会議（議案の採決等）

※いずれも午前10時から